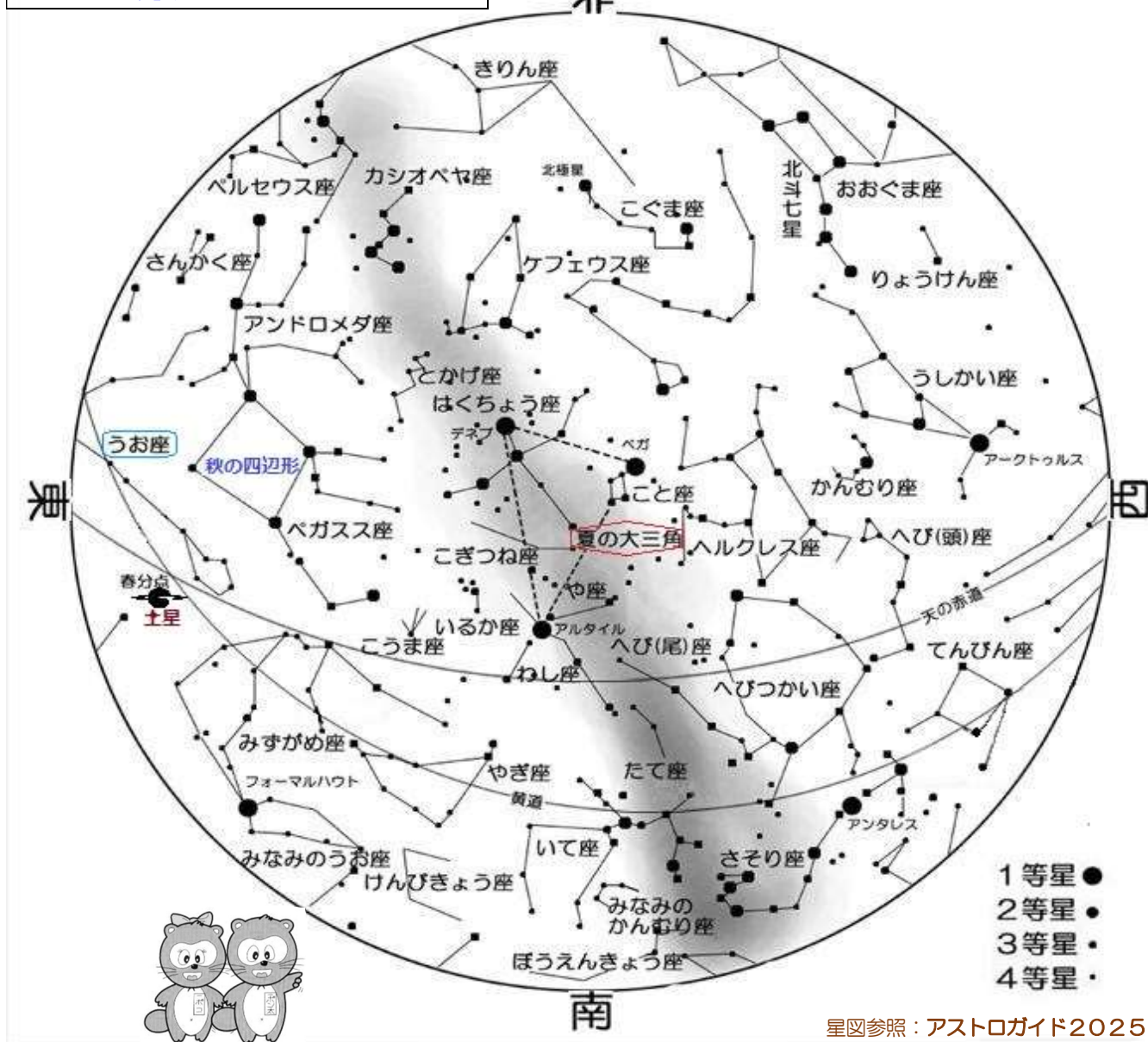


★星空案内(9月上旬21時頃)



星図参照：アストロガイド2025

—(土)— 2025年の秋「土星は、うお座」にあります！

この秋、惑星の「土星」は、暗くなった20時頃には東の空に昇り始めており、一晩中「東～南～西の夜空」で輝いています。明るさは一等星より少し明るい「0.7等」なので、周りにある「秋の星座の星たち」よりは明るい輝きを見せています。



土星って？どんな惑星なの？ 《土星の参考データ》

- ④直径(本体のみ):約12万 km(地球の約 9 倍) ④質量(重さ):地球の約95倍<平均密度=約0.7g/cm³>
- ④表面温度:マイナス180℃ ④自転周期:約11時間(地球は約 24 時間=1日)

Q.土星は地球の仲間の星なの？ 答え: 土星は地球と一緒に太陽の周りをまわっている「惑星」で、太陽系の中では(木星に次ぎ)2番目に大きな惑星です！ 太陽から約15億 km (太陽～地球までの距離の約 10 倍)離れたところを、約 30 年もかかって一周しています！

Q.土星は何でできているの？ 答え: 土星は主に水素やヘリウムでできている「ガス惑星」です！ 丸い本体の表面は厚い大気におおわれ、縞模様のように見える部分はすべて大気の外装(雲など)の模様です！

Q.土星をまわりにある衛星はタイタンだけ？ 答え: 土星には(軌道が確定し名前がついた物だけでも)66個の「衛星」が見つかっています！ 環の周りや環の中にも「羊飼衛星」と呼ばれている小さな衛星「パン」「ダフニス」「アトラス」「プロメテウス」「パンドラ」なども確認されています！

Q.土星の環の正体は？ 答え: 土星の環(輪っか)は、一枚の円盤(CD盤)の様にみえますが、数マイクロメートル～数メートル程の「氷の粒や塊」が集まった物だと考えられています！

- ◎土星の環は年によって傾き具合が徐々にならなくなって行くように見え、2017年に最大の傾き具合でしたが2024～2026 年は環の角度が「ほぼ水平で、環というより串刺し」の様にみえます！

<月食予告> 2025年9月8日 ●皆既月食○

9月8日(月)未明から明け方、月が地球の影に隠される皆既月食が起こり全国で見られます。日本国内で比較的条件的の良い「月食が見られるのは2022年11月8日以来、約3年ぶり」です。

月食の進行は全国で同時刻に起こり、深夜1時27分に部分食が始まって月が欠けていきます。月が地球の影に完全に入ってしまう「皆既食は2時31分～3時53分」で、4時56分に部分食が終わります。

<チェック！> 皆既月食は、太陽と月の間に地球が一直線に並び、月が地球の影に完全に隠れることで起こります。本来であれば月は真っ暗になるはずですが、地球には大気があるため、太陽光が大気を通過する際に屈折し、その光が月面を照らすことで「赤銅色(十円玉の色?)に見える」のです。

☆皆既月食の色変化について

皆既月食時の月の明るさ & 色具合は「毎回異なる月食中の色!!」になるといわれます。それは、地球上の大気中にある塵(チリ)の量で通り抜ける光の量が変わり、チリが少ないと明るいオレンジ系、チリが多いと暗めの赤銅色になります。今回はどんな色になるのか？

最近の火山活動などもチェックし、まず予想しておいてから観望するのも良いかも～！